

ICT先進実証実験事業提案募集要領

1 提案募集の対象

今後本格的な提供が見込まれる技術・サービスの中で、グローバルにも大幅な市場拡大が期待でき、かつ我が国が一定のアドバンテージを有すると認められる以下の新規分野について、技術的課題等を検証し、課題解決策を導き出すことで新規ビジネスの創出や同ビジネスの国際展開等を目指す先進的な実証実験のテーマを募集します。（1件当たりの事業費の上限は1億円程度と想定しています。）

① 通信プラットフォーム分野

【例】認証基盤の相互運用性確保に関する実証実験

（注）プラットフォーム：物理的な電気通信設備と連携して多数の事業者間又は事業者と多数のユーザー間を仲介し、コンテンツ配信、電子商取引、公的サービス提供その他の情報の流通の円滑化及び安全性・利便性の向上を実現するサービス（総務省「通信・放送の総合的な法体系に関する研究会」最終報告書（平成19年12月））。

② 通信・放送の融合・連携サービス分野

【例】次世代デジタルサイネージに関する実証実験

実証実験の実施主体については、実施テーマ決定後、別途一般競争入札を行います。

2 評価の視点

提出された提案については、次の5要素を基準として総合的に評価を行います。

- ① 通信プラットフォーム分野又は通信・放送の融合・連携サービス分野において、新規性・先進性があり、我が国の優位性が高いビジネスモデルであること
- ② 新事業の創出や国際展開を実現するために解決を図る必要のある具体的な障壁（技術的課題等）が存在すること
- ③ 事業化や海外への成果展開について、具体的な方策を有していること
- ④ 実証実験により達成すべきアウトカム指標が設定されていること
- ⑤ その他（実施体制が充実していること、官民が連携して実施することが効果的であること）

評価に当たっては、必要に応じ、外部の有識者等の意見を聴くことを想定しています。
また、平成 21 年度の実施テーマと同様のテーマの提案については、平成 21 年度の実証実験の成果を踏まえて採否を決定します。

平成 21 年度の実施テーマについては、実施テーマの決定に関する報道発表 (http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02tsushin01_000011.html) をご参照ください。

3 提案の提出方法

提案書を別添「ICT先進実証実験事業 実施テーマ提案書」の書式により作成し、提案書に添付する図等とともに、原則として電子メールの添付ファイルとして提出してください。

ファイルの形式は、リッチテキスト(.rtf)、マイクロソフト社の Word 97-2003 文書(.doc) 又はジャストシステム社の一太郎(.jtd)の形式としてください。ただし、提案書に添付する図等は、リッチテキスト(.rtf)、マイクロソフト社の Word 97-2003 文書(.doc)、Excel 97-2003 ブック(.xls) 若しくは Powerpoint 97-2003 プレゼンテーション(.ppt) 又はジャストシステム社の一太郎(.jtd)の形式としてください。

電子メールの宛先は、次のとおりです。

電子メールアドレス： ict-compe◆ml.soumu.go.jp

総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課 宛て

※スパムメール対策のため、「@」を「◆」と表示しています。

送信の際には、「@」に変更してください。

なお、電子メール(添付ファイルを含みます。)の容量の合計が5MBを上回る場合には、ファイルを分割するなどした上で提出してください。

郵送で提出する場合の宛先は、次のとおりです。

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2 合同庁舎2号館

総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課 宛て

4 留意事項

提出された提案については、募集期間終了後、提案の名称、類型の別、概要をとりまとめて公表する場合があります。

なお、提案書の返却は行いません。

ICT先進実証実験事業 実施テーマ提案書

※マイクロソフト社のWord97-2003 (.doc) の形式によるフォーマットは、[こちらからダウンロード](#)していただくことができます。

※提出に当たっては、**赤字の部分**を**全て削除**してください。

※このフォーマットに加えて、必要に応じて別紙を添付していただいても構いません。

○提案者に関する情報

提案組織の名称	
提案組織の代表者	役職： 氏名：
担当者連絡先	住所： 氏名： 電話及びFAX： 電子メール：

○提案内容

1. 提案の名称	※提案内容を的確に示す名称を記入してください。
2. 種類の別	※通信プラットフォーム分野、通信・放送の融合・連携サービス分野のどちらに該当するかを記入してください。
3. 概要	(概要) ※実証実験の内容、技術的課題、ビジネスモデル、実証実験の成果の展開方策について、概要を分かりやすく記入してください。 ※この欄における説明のほか、概要を示す図を別紙として添付してください。
4. 実証実験の内容	(実証実験の内容) ※実証実験内容について具体的かつ分かりやすく記載してください。
	(技術的課題等) ※実証実験を行うことにより解決を図る技術的課題や、当該技術的課題がどのように新規ビジネスの創出・国際展開を阻害しているのかについて、できる限り網羅的かつ詳細に記入してください。 ※あわせて、技術的課題の解決に国が関与する必要がある理由について記入してください。

	<p>(実施場所) ※実証実験を実施する場所について具体的に記入してください。</p>
	<p>(実施体制・役割分担) ※実施テーマ提案者が本実証実験の実施主体として選定された場合に、本実証実験をどのような体制（組織構成・役割分担等）で行うことを見込んでいるのかについて、具体的かつ網羅的に記入してください。</p>
5. ビジネスモデル	<p>(ビジネスモデル) ※実証実験を通じて実現するビジネスモデルについて具体的かつ分かりやすく記入してください。</p>
	<p>(新規性・先進性) ※ビジネスモデルの新規性・先進性について、日本国内や海外の動向に触れながら、具体的かつ分かりやすく記入してください。</p>
	<p>(他国に対する優位性) ※ビジネスモデルの他国に対する優位性について、日本国内や海外の動向に触れながら、具体的かつ分かりやすく記入してください。</p>
6. 実証実験の事業規模	百万円
	※積算書（様式自由）を添付してください。
7. 見込まれる海外への成果普及	※実証実験成果の普及先や普及方策について、具体的かつ詳細に記入してください。
8. スケジュール	※実証実験及び海外への成果普及について、スケジュールを具体的に記入してください。

9. アウトカム指標	※実証実験の成果（技術的課題の解決、新事業創出・海外への成果普及）を検証するための具体的な指標を記入してください。
10. その他 （補足すべき点等があればご記入下さい）	

※ 記述された内容に関し、別途問い合わせることがあります。

※ 複数の実施テーマを提案する場合は、実施テーマごとに別の提案書に記入して提出してください。